

会 議 録

会議の名称	令和7年度 第1回坂戸市立図書館協議会
開催日時	令和7年7月31日(水) 午後3時00分 開会 午後4時20分 閉会
開催場所	坂戸市立中央図書館 2階 視聴覚室
議長(委員長・会長)の氏名	委員長 石橋 妙子
出席者(委員)の氏名・出席者数	新井 紀子 石橋 妙子 高山 かつ子 鴨 由美 貝瀬 由己子 高橋 好次郎 6名
欠席者(委員)の氏名・欠席者数	熊谷 千佳子 市川 なお美 関口 千登世 3名
事務局職員の職・氏名	館長 小林 幸子 課長補佐 植木 昌美 係長 前田 博美 係長 久保 彰子 4名
会議次第	1 開会 2 挨拶 3 自己紹介 4 報告事項 (1) 令和7年度第1四半期利用状況について (2) 令和7年度第1四半期実施事業報告について (3) 令和7年度第2四半期実施予定事業について (4) 令和7年度坂戸市立図書館要覧について (5) その他 5 その他 6 閉会
配布資料	【事前配布】 ・令和7年度第1回坂戸市立図書館協議会次第 ・令和7年度第1回坂戸市立図書館協議会資料 ・令和7年度第1回坂戸市立図書館協議会資料の概要 ・令和7年度坂戸市立図書館要覧 【当日配付】 ・坂戸市立図書館協議会委員名簿 ・図書館だより 第212号 ・田中一郎氏と坂戸をめぐる旅～その3～ ・広報さかど6月号の写し(多世代交流拠点関係)

会 議 録

発 言 者	議 事 の 経 過
議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項	
小林館長	委嘱状交付（新井委員）
事務局	1 開会 出席者6名。図書館協議会運営規則第4条第1項の規定により過半数に達しているため、会議の成立を報告する。（傍聴人なし）
委員長 館長	2 挨拶 挨拶
各委員、事務局	3 自己紹介 各委員自己紹介、事務局紹介
委員長	4 報告事項
事務局	(1) 令和7年度第1四半期利用状況について 事務局説明
委員長	意見、質問を求める。 意見、質問なし
委員長	(2) 令和7年度第1四半期実施事業報告について
事務局	事務局説明
委員長	意見、質問を求める。
委員長	春の図書館まつりで、みんなのおりがみ教室は他に比べると参加者が多いと感じた。折り紙は人気がある。
委員	図書館だよりでとても素敵に紹介していただいた。 見る人が見ると、同じ折り方を少し変えただけではないかという意見もあるが、この折り方が一番簡単である。 チューリップを反対にして、上を少し折ると「あやめ」になる。小さい子供でもすぐに出来るようなものを作った。図書館だよりで残していただきとても嬉しく思う。

委員長	年代的には、大人の方も多かったのか。
委員	大人の方も結構いらして、大人の方の折り紙は面白くて参考になった。
委員長	ちいさい子のおはなし会は、毎月行っていて、常時25名ほど参加されているようであるが、毎回同じ方が参加しているのか。
事務局	リピーターの方は必ずいるが、初めての方もいて、そこから繋げていくことも多い。
委員長	一番子育てで大変な0、1、2歳の時期に、親たちの情報共有、困っていることを話しあえるような環境であってほしい。
委員	展示コーナーで大きく表紙が見えるように並べて、そこから利用される方は多いと思われるがいかがか。
事務局	図書館の入口付近に、目立つようにパネルを置いて展示をしたり、面出しをして置いたりしている。そこで足を留めて本を選び、貸出される方は多い。
委員長	本のリサイクル市は相変わらず人気であるが、本を提供したいという方の受付は随時しているのか。
事務局	随時受付している。年末年始、掃除の時期、引っ越しシーズンは、お持ちいただく割合は高い。
委員長	広報、ホームページで寄贈に関する周知の記事を掲載してもらえるとよい。
委員	ブックスタート事業に力を入れているところであるが、街中では外国人の方も多く、私が見守りを行っていた時は、子は日本語が話せるが、親は日本語を話すのが難しいという親子がいた。ブックスタート事業の時は、外国人親子はどのくらいいるのか。
事務局	1月に1組程度である。紹介する絵本は赤ちゃん向けの絵本で、簡単な日本語なので、言語でそこまで不自由にはならず、親子一緒に楽しんでいただいている。

委員長	(3) 令和7年度第2四半期実施予定事業報告について
事務局	事務局説明
委員長	意見、質問を求める。
委員	資料14ページ、城西大学の学生の方の応援講座（楽しもう！図書館を使った調べる学習コンクール応援講座）の、学年ごとの参加人数は。
事務局	学年ごと人数は即答ができないが、今年度は全体で14人の申込みをいただいております、昨年の倍の人数である。 城西大学の学生がうまくレクリエーションを投げかけてくれたので、参加者はとてもいい雰囲気調べ物を行っていた。
委員	城西大学の学生は何人か。
事務局	7月30日が4人、31日が7人。
委員長	小学校ではどの程度応募があるのか。
委員	うちの学校（大家小）は毎年2、3人程度である。
委員	資料1ページの令和7年度第1四半期利用状況に戻るが、①（個人）貸出状況で視聴覚資料の6月分が減ってしまっているが、何か理由はあるか。
事務局	来館者数が減っているのので、貸出数も減っていると思われる。暑かった日も続いていたことから、気象的なものも関係していると思われる。
委員	資料3ページ（個人）館別貸出状況で、勝呂分館は4月から6月まで利用が0であるが、参考に下の部分に、休館期間を掲載していただけたらと思う。ちなみに休館期間はいつからいつまでであったか。
事務局	3月1日から6月30日まで休館していたが、7月から開館している。
委員長	資料14ページ 令和7年度第2四半期実施予定事業報告の、夜のおはなし会は何人応募があるか。

事務局	15人程度である。
委員長	(4) 令和7年度坂戸市立図書館要覧について
事務局	事務局説明
委員	意見、質問を求める
委員長	蔵書数はどれくらいか。
事務局	要覧5ページ、蔵書冊数の推移に掲載している。 令和6年度末時点で329, 218冊、前年に比べ若干増えている。
委員長	(5) その他について
副委員長	<p>配布させていただいたのは、今年度の学校教育課のグランドデザインで、学校教育に関する内容についてである。グランドデザインとは、今から約30年前に民間企業で会社社長が経営方針をどうしていくか、図書館でいえば、図書館の経営方針をどうしていくかについて、1枚の紙にまとめていこうというもの。</p> <p>図書館のグランドデザインをすぐに作ろうと思ってもなかなかすぐには作れるものではないが、1年なりゆっくり時間をかけて、それぞれのパートごとに、こういう方法で行っていきたいというようなものが一覧表にまとめればよいと思い申し上げた。</p> <p>そして、坂戸市の図書館がどういう図書館を目指していくのか、その中で基本方針があって、今年度何を行っていくのか、というような内容も要覧の中に入れていくと、坂戸市の図書館はこのような中で行っているんだということがよくわかるのでは、作って見たらどうかという提案である。</p>
事務局	お時間をいただき、今後の検討とさせていただきます。
委員	要覧の中で昨年度末に大規模改修の設計完了とあるが、具体的に空調等着手するものが決まっているのか、あるいはこれから詳細を詰めるのか、進捗状況について教えてほしい。
事務局	竣工から41年が経過し、至る所が危険な状況である。昨年度大規模改修の基本設計業務委託を行い、危険度のランク付けを行った。具体的なものとしては、今年度屋根改修等設計業務委託、来年度屋根等改修工

	<p>事を予定している。他、今年度は人体に悪影響を及ぼすPCBを含有している変圧器の交換修繕、安定的な空調運転を行うための空調設備修繕を行う予定で、既に契約し、修繕を進めている状況である。また、外壁についても来年度改修等設計委託を予定している。</p>
委員	<p>他に何かあるか。 他になれば、以上で議事は終了とする。</p>
事務局	<p>5 その他（事務局より連絡事項） （１）手作り絵本製本教室（子ども向け）を製本教室（大人向け）にしたことについて （２）勝呂分館の開館について （３）学習室の増席及び利用時間の変更について （４）第5次坂戸市子ども読書活動推進計画の策定について （５）こども図書館について</p>
委員	<p>こども図書館について、オープンの時間等目安は決めているのか。</p>
事務局	<p>時間等一切決まっていない状況である。 図書館は静かな印象があるが、市長からは、にぎやかで、年中無休で開くこども図書館をという話があった。</p>
委員長	<p>読み聞かせルームはあるのか。</p>
事務局	<p>変更前では読み聞かせスペースはあったが、変更後はなくしており、読み聞かせを行う場合は、つどいの広場開催時はつどいの広場スペースを活用して、つどいの広場参加者にもあわせて読み聞かせを行うことができる。つどいの広場未開催時はフリースペースとなる。壁等で区切ってはいない。</p>
委員長	<p>区切られた読み聞かせの空間があるとよい。 異次元ルームというか、夢の部屋。そのような部屋のある図書館は結構ある。</p>
事務局	<p>例えば、多機能スペースや2階にある会議室を一時的に活用することはできる。</p>
副委員長	<p>お願いしたいことは、安全面や体の不自由な人のバリアフリー対応を設計の段階で押さえていただけたらと思う。</p>

事務局	つどいの広場開催時は、周りにいる小学生が入れないように、こども支援課で柵を設置して危なくないようにするとのこと。
委員	北坂戸駅の西口周辺は寂しくなってしまうので、子供を連れて利用できるスペースがあるというのはいいことである。
事務局	民間施設との相互利用も期待できる。
委員長	せっかく1から作るのだから、全国から人が来るような楽しいこども図書館にしてほしい。
副委員長	色をどうするか。色彩学では年齢も感情も色々ある。子供には子供の色がある。赤だったら若者の色、白だと赤ちゃんの色、将来の子供のためにいいと思う。
委員長	何歳までを対象とするのか。
事務局	0歳から小学生までを対象としている。中学生以上は中央館を利用していただく。
委員	第2四半期以降の展示について、デフリンピックにあわせた展示はあるのか。
事務局	デフリンピックをメインにしたものはないが、11月に「障害ってなんだろう」というテーマで展示をする予定である。
副委員長	副委員長閉会挨拶
	6 閉会
	※第2回目の協議会は、10月下旬に開催予定